

公民 科目 公共

單位數： 2 單位

対象年次組：1年次・2年次・3年次・4年次

教科担当者：清水（月曜11・12時限、火曜3・4時限、水曜11・12時限）

荻原（火曜1・2時限、水曜3・4時限、木曜5・6時限、7・8時限）吉武（火曜11・12時限）

使用教科書：『高等学校 新公共』（第一学習社）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

社会的事象等に関する理解を図るための知識や社会的事象等について調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

社会的事象等の特色や社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて行動する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に学習に取り組む態度を身につける。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会に対して興味関心を持ち、自らの進路や興味関心に合わせて、より高度な知識を身に付けている。	資料の読み取りや、既習事項の活用を通じて、その社会的背景や因果関係などを考察し表現することができる。	対話的活動または問うことによって関心・意欲・態度を示している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
前期	社会に参画する集団の一員として、何を考え行動するべきか理解させる。	公共的な空間を作る私たち	○	○	○	○評価物について 【知識及び技能】 考查、小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 考查・ワークシート 【学びに向かう力】 出席状況・平常点・ワークシート ○評価の方法	○	○	○	14	
	これまでの学習成果をはかる。	前期中間考查		○		評価物を点数化し、3観点それぞれでA～Cをつける。合算の際には1：1：1の割合で合算し、重みづけは行わない。	○	○		2	
	古今東西の先人たちの取り組みや知識をもとに社会に参画する際の判断・選択するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。	公共空間における人間としてのあり方	○	○	○	○評価物について 【知識及び技能】 考查、小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 考查・ワークシート 【学びに向かう力】 出席状況・平常点・ワークシート ○評価の方法	○	○	○	10	
	憲法の下、権利や自由が保障され、社会の秩序が形成されていくことについて理解させる。	法や規範の意義と役割	○	○	○	評価物を点数化し、3観点それぞれでA～Cをつける。合算の際には1：1：1の割合で合算し、重みづけは行わない。	○	○	○	10	
	これまでの学習成果をはかる。	前期期末考查		○			○	○		2	
後期	自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られていることや政府の働きによって経済活動や個人の尊重が成り立っていることを理解する。	経済的な主体となる私たち	○	○	○	○評価物について 【知識及び技能】 考查、小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 考查・ワークシート 【学びに向かう力】 出席状況・平常点・ワークシート ○評価の方法	○	○	○	20	
	これまでの学習成果をはかる。	後期中間考查		○		評価物を点数化し、3観点それぞれでA～Cをつける。合算の際には1：1：1の割合で合算し、重みづけは行わない。	○	○		2	
	経済がグローバル化していく中で抱える格差やエネルギーなどの問題について理解し、私たちがどうあるべきか考えさせる。	経済のグループ化	○	○	○	○評価物について 【知識及び技能】 考查、小テスト 【思考力、判断力、表現力等】 考查・ワークシート 【学びに向かう力】 出席状況・平常点・ワークシート	○	○	○	8	
	持続可能な社会づくりを担う主体となることに向けて、授業の内容を踏まえて、現代の諸課題を探究する。	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○	○	○	○評価の方法 評価物を点数化し、3観点それぞれでA～Cをつける。合算の際には1：1：1の割合で合算し、重みづけは行わない。	○	○	○	8	
	これまでの学習成果をはかる。	後期期末考查		○			○	○		2	
							合計	78			